

兵庫県のテントウムシ(2)

故高橋寿郎氏遺稿集No. 2
兵庫昆虫同好会事務局編

前回に引き続き、兵庫県のテントウムシについての研究史を手持ち文献により振り返ってみる。今回は1976年まで紹介したので今回はそれ以降について解説する。

1977. 伊丹市立博物館 昆陽池の自然 B5. 26p.

伊丹市立博物館第9回特別展解説目録13号。

テントウムシ、ナナホシテントウが記録されている。

1977. 伊丹市立博物館 昆陽池生物目録 B5. 36p.

テントウムシ科はベニヘリテントウ、テントウムシ、ナナホシテントウ、ヒメカメノコテントウの4種が記録されている。

1977. 広地 昇・奈良隆史・木戸和伸 三熊山の昆虫について

PARNASSIUS(17) : 5-28.

テントウムシ科としてベニヘリテントウ、クロヘリヒメテントウ、ナナホシテントウ、ムーアシロホシテントウ、キイロテントウ、オニヒメテントウ、ムモンヒメテントウの7種が記録されている。

1977. 西宮自然保護協会 西宮の自然

(西宮市甲子園ロータリークラブ発行)

ナナホシテントウの記録あり。

1977. 仲井啓郎 竹田川の昆虫

竹田川の自然 : 104-109. ひかみ第9号

p. 152.(丹波自然友の会, 永上文化顕彰会発行)

テントウムシ科としてテントウムシ、カメノコテントウ、ナナホシテントウ、ヒメカメノコテントウ、ニジュウヤホシテントウ、ヒメアカボシテントウ、ハラグロオオテントウの7種が記録されている。

1977. 高橋寿郎 三瀧山(兵庫県)の甲虫相(兵庫県甲虫相資料-60)

MDK NEWS 27(77) : 2-6.

テントウムシ科は19種が記録されているが、なかでもクロジュウニホシテントウ、ナカネヒメテントウ、アラキヒメテントウ、アカヘリテントウは注目種として記録している。

1978. 宮武睦夫 てんとうむしノート(I)

昆虫と自然13(1) : 9-16.

シロジュウシホシテントウの摩耶山での記録がある。

1978. 堀田 久 淡路島産昆虫類採集記録

PARNASSIUS(18) : 4-16.

テントウムシ科としてテントウムシ、アカボシテントウ、ヒメアカボシテントウ、ベニヘリテントウ、ヒメカメノコテントウ、オオニジュウヤホシテントウの6種が記録されている(p.14)。

1978. 高橋寿郎 兵庫県神崎郡大河内町川上~砥峰地区の甲虫相

大河内地点自然環境実態調査報告書p.56-61.

大河内地点自然環境調査団刊。

テントウムシ科としてムツボシテントウ、ココロヒメテントウ、フタホシテントウ、ヒメアカボシテントウ、ベニヘリテントウ、ナナホシテントウ、ヒメカメノコテントウ、シロジュウシホシテントウ、テントウムシ、ハラグロオオテントウ、キイロテントウ、シロジュウニホシテントウ、オオニジュウヤホシテントウ、トホシテントウの14種を記録している(p.59)。

1978. Miyatake, M. The Genus *Telsimia* Casey of Japan and Taiwan (Coleoptera: Coccinellidae)

Trans. Shikoku Ent. Soc. 14(1/2) : 13-19.

表題のごとく日本、台湾産 *Telsimia* 属のテントウムシについての論文で、南方系のテントウムシである。直接兵庫県産についての記述はないが、日本全土に広く分布しているクロテントウ *Telsimia nigra* (Weise) の分布に淡路島が記されている。淡路島での記録はこの著者により1973年にある。

1978. 堀田 久 淡路島産昆虫採集記録(II).

PARNASSIUS(19) : 10-14.

テントウムシ科としてキイロテントウ、ヒメアカボシテントウ、ヒメカメノコテントウの3種が記録されている。

1978. 高橋 匡 豊岡高等学校昆虫標本目録(第5報)

兵庫県豊岡高等学校生物教室刊. B5,14p.

テントウムシ科としてマクガタテントウ, フタモンクロテントウの2種の記録があり(p.11), 豊岡市, 城崎郡日高町産とされている。

1978. 仲田元亮 能勢の昆虫(I) 自刊 B5. 405p.

テントウムシ科として次の記録がある(p.188-197).

トホシテントウ, オオニジュウヤホシテントウ, ニジュウヤホシテントウ, アカイロテントウ, ベニヘリテントウ, ベタリヤテントウ, コクロヒメテントウ, ハレヤヒメテントウ, フタホシヒメテントウ, クビアカヒメテントウ, フタモンクロテントウ, ウスフタホシテントウ, フタホシテントウ, ヨツボシテントウ, ヒメアカボシテントウ, アカボシテントウ, ハラグロオオテントウ, カメノコテントウ, テントウムシ, ナナホシテントウ, ウスキホシテントウ, シロトホシテントウ, ヒメカメノコテントウ, ジュウロクホシテントウ, キイロテントウ, シロホシテントウの26種。

1979. 仲田元亮 「能勢の昆虫」その後(2)

きべりはむし7(2): 16-28.

テントウムシ科としてムーアシロホシテントウ, クロヘリヒメテントウの2種の記録がある。

1980. 高橋寿郎 県下の注目すべき甲虫(兵庫県甲虫相資料・77)

鳥と自然(16): 8-14.

テントウムシ科としてジュウクホシテントウ, マクガタテントウ, ウスキホシテントウ, ジュウロクホシテントウ, ウンモンテントウ, コブオオニジュウヤホシテントウを記録している。

1980. 高橋寿郎 兵庫県におけるマダラテントウ類の分布について

きべりはむし8(1): 9-11.

トホシテントウ, ニジュウヤホシテントウ, オオニジュウヤホシテントウ, コブオオニジュウヤホシテントウの4種の分布状況の記録。

1980. (株)都市緑地研究所 神戸市道高速道路2号線生態調査業務(その1・その2)報告書 V.昆虫類. p.233-292, 付図70.

(妙法寺の昆虫・神戸)

キイロテントウの記録がある。

1980. 環境庁編 日本の重要な昆虫類・近畿版 IV 兵庫県.

第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(昆虫類) 1978・兵庫県 (大蔵省印刷局発行)

p.90にハラグロオオテントウの記録がある。

1980. 藤本 清・今井国貴・山口福男 クリ園における空中散布が昆虫相に及ぼす影響・ナナホシテントウの各種アブラムシ類に対する捕食性と薬剤感受性.

応用動物昆虫学会中国支部会報(22): 3-14.

著者の所属職域から兵庫県下での調査結果と考えられるが, 具体的な調査地点は不明。

1980. 奥谷禎一 宝塚の昆虫類

宝塚市史第7巻: 512-523.

ハラグロオオテントウが佐曽利の桑の木に多いとの記録がある。

1980. 上田尚志. 家島群島の昆虫(2).

きべりはむし9(1): 9-18.

テントウムシ科としてベニヘリテントウ, ベタリヤテントウ, ヒメアカボシテントウ, ダンダラテントウ, テントウムシ, ナナホシテントウ, ヒメカメノコテントウ, キイロテントウの8種の記録がある。

1981. 永井正身 朝来郡朝来町奥多々良木ダム・黒川ダム動物相調査報告(昆虫類)

環境科学(株) A4. 8p.

ナミテントウの記録がある。

1982. H.Sasaji. Additions to the Japanese fauna of the Coccinellid tribe Scymnini (Coleoptera).

Spec. Iss. Mem. Retir. Emer. Prof. N.Chujo, 1982: 63-72.

p.69-72. *Scymnus (Pullus) chujoi* Sasaji チュウジヨウヒメテントウなる新種記載があり, Paratypes の中に次の県下産の記録がある。

1ex., Hyonosen, Hyogo Pref. 18.VII.1967, H.Sasaji leg.

1ex., Hyonosen, 26-30.VII.1969, H.Sasaji leg.

筆者が宍粟郡音水で採集した1ex., 3.VI.1973 で佐々治博士に同定をお願いしたのもこの種に当たる。

1982. 仲田元亮 増補改新 能勢の昆虫

甲虫の部下巻 B5. 508p.(ref.p.60-79).

兵庫県産テントウムシの記録は次のとおりである。

トホシテントウ, ニジュウヤホシテントウ, アカイロテントウ, ベニヘリテントウ, ベタリヤテントウ, コクロヒメテントウ, ハレヤヒメテントウ, フタホシヒメテントウ, クビアカヒメテントウ, フタモンクロテントウ, ウスフタホシテントウ, フタホシテントウ, ヨツボシテントウ, ヒメアカボシテントウ, アカボシテントウ, ハラグロオオテントウ, カメノコテントウ, テントウムシ, ナナホシテントウ, ウスキホシテントウ, シロトホシテントウ, シロジュウシホシテントウ, ムーアシロホシテントウ, ヒメカメノコテントウ, ジュウロクホシテントウ, キイロテントウ, シロホシテントウの27種。

1982. 河上仁之 猪名川自然目録

地域研究いたみ(12) : 135.

テントウムシ科としてテントウムシ(=ナミテントウ), ナナホシテントウ, ヒメカメノコテントウの3種が記録されている。

1984. 高橋寿郎・蜂谷幸雄 東条地区の昆虫

東条地区開発に伴う環境影響評価現況調査報告書 住宅・都市整備公団関西支社 B4.

252pp.(ref. p.193-223, 昆虫, p.197-205)

テントウムシ科の記録としてカメノコテントウ, コクロヒメテントウ, チビクロテントウ, テントウムシ, ナナホシテントウ, ヒメアカボシテントウ, ヒメカメノコテントウの7種を記録している。

1984. 河上仁之 伊丹市昆虫目録(1).

伊丹の自然 1 : 22-32.

p.31にナナホシテントウ, ニジュウヤホシテントウ, テントウムシ, ダンダラテントウ, ヒメカメノコテントウ, ベニヘリテントウの6種の記録がある。

1985. 高橋寿郎・蜂谷幸雄 押部谷町木津地域の昆虫類

(仮称)押部谷パブリックゴルフクラブ建設事業動物調査報告書

(パシフィックコンサルタンツK.K. B5. 71p.)

(昆虫 p.20-43)

テントウムシ科として次の記録がある(p.38-39).
コクロヒメテントウ, クロヒメテントウ, テントウムシ, ナナホシテントウ, ヒメカメノコテントウの5種。

1985. 河上仁之 伊丹市昆虫目録(2)

伊丹の自然(2) : 27-32.

テントウムシ科としてアカボシテントウ, シロジュウゴホシテントウ, チビクロテントウの3種が記録されている。

1985. 高橋寿郎 摩耶山の甲虫

鳥と自然(38) : 12-18.

ハラグロオオテントウについて記録されている(p.17).

1986. 山口福男 笠形山千ヶ峰県立自然公園の昆虫

笠形山千ヶ峰県立自然公園及び周辺地域の自然環境調査報告. B5. 28p. (ref.21-28p.)

兵庫県新観光課

テントウムシ科としてウンモンテントウ, オオテントウなど18種が記録されている。

1986. 山口福男 雪彦峰山県立自然公園の昆虫.

雪彦峰山県立自然公園及び周辺地域の自然環境調査報告. B5. 35p. (ref.27-35p.)

テントウムシ科はハラグロオオテントウ, シロジュウシホシテントウの記録がある。

1986. 河上仁之 伊丹市昆虫目録(3)

伊丹の自然(3) : 21-26.

テントウムシ科としてナナホシテントウ, ナミテントウ, ダンダラテントウ, ニジュウヤホシテントウ, ヨツボシテントウ, ヒメアカボシテントウ, ヒメカメノコテントウの7種が記録されている。

1987. 東 正雄 ハラグロオオテントウの生活史

きべりはむし15(1) : 15-16.

宝塚市西谷地域香合新田のクワの樹より採集の8exs.の飼育から。

1987. 堀田 久 洲本市由良小学校付近の昆虫類

PARNASSIUS(32) : 12-15.

テントウムシ科としてナナホシテントウ, テントウムシ, ヒメアカボシテントウの3種の記録がある。

1987. 河上仁之 野鳥の島の生物調査報告(1) IV

昆虫(昆陽池) 伊丹の自然(5) : 23-25.

ニジュウヤホシテントウ, ナミテントウの記録がある。

1988. 高橋寿郎 大上宇一氏による西播の甲虫相
きべりはむし16(2) : 29-35.
マクガタテントウ, カメノコテントウについての
解説がある。
1988. 高橋寿郎 兵庫県産テントウムシ数題
きべりはむし16(2) : 37-39.
ズグロツヤテントウ, ヨツモンヒメテントウ, ウ
スキホシテントウ, ジュウロクホシテントウの4種
について解説している。
1988. 相坂耕作 播磨の昆虫 (のじぎく文庫)
(神戸新聞総合出版センター)
テントウムシ(=ナミテントウ), ナナホシテント
ウ, ニジュウヤホシテントウについての解説がある
(p.70-71)。
1989. 新家 勝 宝塚大橋の甲虫(その3)
きべりはむし17(1) : 9-11.
ナミテントウの記録がある (p.10)。
1989. 西宮市立総合教育センター 甲山の自然②
西宮の自然ガイド② 95p.
ナナホシテントウ(p.39), ナミテントウ(p.41)の
記録がある。
1990. 新家 勝 武庫川の昆虫目録
伊丹の自然(8) : 1-15.
ヒメアカホシテントウ, ナナホシテントウ, ヒメ
カメノコテントウ, テントウムシの記録がある。
1990. 高橋寿郎 兵庫県の甲虫
鳥と自然(59) : 9-18.
オオテントウ, ハラグロオオテントウ, カメノコ
テントウ, ニジュウヤホシテントウ, オオニジュウ
ヤホシテントウの解説がある。
1991. 西宮市立教育センター 北部の自然
西宮の自然ガイド④ 33p.
ナミテントウ(p.49)の記録がある。
1991. 新家 勝 尼崎西部の昆虫(その5)
きべりはむし19(2) : 37-41.
テントウムシ科はベニヘリテントウ, ニジュウヤ
ホシテントウ, ヒメアカホシテントウ, テントウム
シ, ナナホシテントウ, ヒメカメノコテントウの記
録がある。
1993. 河上仁之ほか 武庫川河原の昆虫・昭和40年
代昆陽池の昆虫
伊丹の自然第1巻 p.127-132.
ナナホシテントウ, ナミテントウの記録がある。
1993. 河上仁之ほか 河原の動植物・畑の動植物
伊丹の自然第2巻 p.63, p.144.
ナナホシテントウ, ナミテントウ, ヒメカメノコ
テントウ, ニジュウヤホシテントウの記録がある。
1993. 小田中 健ほか 宝塚の昆虫IV 甲虫目(II)
168p. (ref.p.47-57) 宝塚市教育委員会刊
ハレヤヒメテントウ, クビアカヒメテントウ, ア
トホシヒメテントウ, コクロヒメテントウ, クロヘ
リヒメテントウ, クロテントウ, フタモンクロテ
ントウ, アカホシテントウ, ヒメアカホシテントウ, ヨ
ツボシテントウ, ベニヘリテントウ, アカヘリテ
ントウ, ベタリヤテントウ, ジュウサンホシテントウ,
ジュウクホシテントウ, ナナホシテントウ, マクガ
タテントウ, ウスキホシテントウ, ヒメカメノコテ
ントウ, ムーアシロホシテントウ, ジュウロクホシ
テントウ, テントウムシ, ダンダラテントウ, ハラグ
ロオオテントウ, カメノコテントウ, キイロテント
ウ, シロホシテントウ, ニジュウヤホシテントウ, オ
オニジュウヤホシテントウ, トホシテントウの30種
が記録されている。
1993. 高橋寿郎 鳥原貯水池付近の昆虫類
鳥原貯水池自然調査報告書 A4. 56p. 昆虫類
目録 14p.
テントウムシの記録としては, クロツヤテントウ,
キアシクロヒメテントウ, ハレヤヒメテントウ, ナ
ガサキヒメテントウ, クビアカヒメテントウ, カイ
ヒメテントウ, アトホシヒメテントウ, コクロヒメ
テントウ, クロヒメテントウ, カワムラヒメテント
ウ, オオサカヒメテントウ, アラキヒメテントウ, ニ
セツマアカヒメテントウ, ナガヒメテントウ, キイ
ロヒメテントウ, オトヒメテントウ, クロヘリヒメ
テントウ, ヒメアカホシテントウ, フタホシテント
ウ, クロテントウ, ヨツボシテントウ, ベタリヤテ
ントウ, アカイロテントウ, ベニヘリテントウ, ナナホ
シテントウ, ヒメカメノコテントウ, シロトホシテ
ントウ, シロジュウシホシテントウ, ムーアシロホ
シテントウ, テントウムシ, ダンダラテントウ, キイ
ロテントウ, シロホシテントウ, ニジュウヤホシテ
ントウの34種がある。

1993. 斉藤琢己 神戸市におけるオシマヒメテントウの記録.

月刊むし(264): 40.

1♂, 神戸市北区京地(16.IX.1991)の記録がある.

1994. 小田中 健 宝塚の甲虫(補遺)

宝塚の昆虫 VII: 337-370.

テントウムシ科(p.358-360)としてムツボシテントウ, ヨツモンヒメテントウ, キアシクロヒメテントウ, ツマアカヒメテントウ, ハバヒメテントウ, オトヒメテントウ, アミダテントウの7種が記録されている.

1994. 竹野川生物調査研究会 川原の昆虫

私たちの川: 26 竹野川の自然とくらし(城崎郡竹野町)

ナミテントウの図説がある.

1994. 建設省河川治水課監修 財団法人リバーフロント整備センター編集 平成4年度河川水辺の国勢調査年鑑

陸上昆虫数等調査編 B5. 1328pp.(山海堂・東京)

猪名川・藻川 p.843-844.

クロツヤテントウ, キアシクロヒメテントウ, カグヤヒメテントウ, コクロヒメテントウ, カワムラヒメテントウ, クロテントウ, ナナホシテントウ, ヒメカメノコテントウ, ナミテントウ, ダンダラテントウ, キイロテントウ, ニジュウヤホシテントウの12種.

加古川

セスジヒメテントウ, クロヘリヒメテントウ, コクロヒメテントウ, ヒメアカホシテントウ, カメノコテントウ, ムーアシロホシテントウ, ナナホシテントウ, ジュウサンホシテントウ, ヒメカメノコテントウの9種.

揖保川

クロツヤテントウ, オオヒメテントウ, クロヘリヒメテントウ, オニヒメテントウ, コクロヒメテントウ, ヒメアカホシテントウ, ムーアシロホシテントウ, ナナホシテントウ, マクガタテントウ, ナミテントウ, ジュウサンホシテントウ, ヒメカメノコテントウ, ニジュウヤホシテントウの13種.

1995. 高橋寿郎 クロバネヒメテントウが自宅電話に飛来

IRATSUME(19): 60.

1995. 林 靖彦ほか 雨石山の甲虫相

KASUGA(大阪甲虫同好会連絡誌)No.11: 1-25 (ref.p.15).

キイロテントウ, ベタリヤテントウ, ベニヘリテントウ, ムーアシロホシテントウ, シロトホシテントウ, シロジュウシホシテントウ, フタホシテントウ, テントウムシ, ヒメアカホシテントウの9種が記録されている.

1996. 渡辺 直 ハムシの成虫に食らいついたカメノコテントウの成虫

インセクタリウム33(11): 20-21.

神戸市西区にて.

1996. 大宮文彦 テントウムシ科2種の特徴的な羽化

月刊むし(310): 31.

尼崎市蓬川緑地にて採集のニジュウヤホシテントウを飼育中の羽化状況.

1996. 野生生物を調査研究する会 生きている武庫川

テントウムシの記録がある.

1998. 斉藤琢己 気になるテントウムシ

ねじればね(79): 11.

Scymnus (Pullus) sp. が尼崎市武庫元町県立西武庫公園, 同武庫之荘西, 武庫豊町で採れている.

目 録

Family Coccinellidae テントウムシ科

Subfamily Stichlotidinae メツブテントウ亜科

1. *Serangium japonicum* Chapin, 1940

クロツヤテントウ

体長1.5-2.0mm. 上翅の点刻は微細, 頭部はふつう赤褐色. 触角挿入孔は縁取られ, 腿節はふつう黄褐色. 樹葉上にふつうに見られる. コナジラミ類を捕食する.

産地.

三原郡福良[宮武, 古木, 1973]*

神戸市鳥原(1ex., 4.V.1972, M.Miyatake det., 1ex.,

23.V.1981, H.Sasaji det. in his coll., 1ex., 1.VI.1982, etc. *), 箕谷 (1ex., 4.X.1989).

明石市明石公園 (1ex., 9.VI.1978).

加東郡社町三草 (1ex., 22.V.1989, etc.)

相生市三濃山 (1ex., 6.V.1973, M.Miyatake det., etc.)

宍粟郡音水 (1ex., 11.VI.1972, H.Sasaji det. in his coll., etc.).

2. *Serangium punctum* Miyatake, 1963

ズグロツヤテントウ

体長1.8–2.2mm. 上翅の点刻はやや強く、頭部は黒色。触角挿入孔は縁取られない。山地性とのこと。県下の記録はあまりない。

産地。

宍粟郡音水 (1ex., 15.VII.1973, M.Miyatake det.)

美方郡扇の山 [宮武, 1963., 辻, 1972., 辻・岸田, 1972]

3. *Plotina versicolor* Lewis, 1896

クロジュウニホシテントウ

体長2.4–3.5mm. 体下面, 肢, 触角, 口器は赤褐色。全国的に見ても少ない種類のようなのである。

兵庫県からは次の記録が知られているだけである。

産地。

相生市三濃山 (2exs., 3.V.1969).

4. *Sticholotis punctata* Crotch, 1874

ムツボシテントウ

体長2.0–2.6mm. 上翅に点刻列がなく、黒斑は6個、冬期ケヤキの樹皮下にいる。♂が見つからず単為生殖をされると思われる (佐々治, 1985).

県下の記録も少ない。

産地。

川辺郡猪名川町槻並 (1ex., 2.VII.1978).

宝塚市宝塚ファミリーランド内 [畑中, 1994].

Kobe [Lewis, 1896].

三田市永沢寺 (1ex., 3.VI.1978).

5. *Sticholotis substriata* Crotch, 1874

メツブテントウ

体長2.7–3.0mm. 各上翅の会合縁近くの中央部に強い点刻からなる2点刻列があり、黄色部はない。県下の記録は少ない。

産地。

Kobe [Lewis, 1896].

神崎郡大河内町砥峰 (1ex., 7.V.1977).

Subfamily Scymninae ヒメテントウ亜科

6. *Stethorus (Stethorus) japonicus* H.Kamiya, 1959

キアシクロヒメテントウ

体長1.2–1.5mm. 体長は体幅の約1.3倍、上翅の点刻は細かく均一。他の無紋ヒメテントウ類に似るが弧状に張り出した前胸腹板前縁で区別される。ハダニの捕食虫として知られる。

兵庫県下には広く分布していると考えられる。

とくに神戸市内では多く見られる。

産地。

宝塚市玉瀬 [小田中, 1994].

神戸市逢山峡 (1ex., 2.VII.1982), 鳥原 (1ex., 12.V.

1980 & 1ex., 22.V.1979, H.Sasaji det. in his coll., 4exs., 9.V.1982, etc.), 藍那 (1ex., 21.IV.1993, etc.).

三木市美寝川川原 (1ex., 16.VIII.1979).

加東郡東条町森 (1ex., 11.V.1984), 社町三草 (1ex., 22.V.1989).

7. *Pseudoscymnus hareja* (Weise, 1879)

ハレヤヒメテントウ

上翅中央に1対の橙黄紋があり、翅端部も橙黄色。上翅黄紋が左右融合することがあるが、その場合は上翅基部、側縁と会合線の前半が黒色。前胸背板は橙黄色であるがまれに黒化することがあるという。

体長1.9–2.5mm. カイガラムシ類の天敵として知られている。兵庫県にも広く分布している。

産地。

洲本市先山 [久松, 1973]. 三原郡福良 [久松, 1973].

川西市笹部 [仲田, 1978, 1982].

宝塚市武田尾 (1ex., 25.VII.1954), [東, 1993].

西宮市船坂 (1ex., 5.VI.1987).

Kobe [Lewis, 1896].

神戸市摩耶山 [三橋, 1936], 布引 (1ex., 17.V.1959),

六甲山 (1ex., 29.V.1987), 鳥原 (1ex., 10.V.1956,

etc.), 山の街 (1ex., 5.V.1955), 須磨 (2exs., 9.VII.

1982, Y.Hachitani leg.), 多井畑 (1ex., 27.IX.1990,

etc.).

美寝郡吉川町 (1ex., 6.VI.1985).

神崎郡笠形山 (1ex., 12.V.1966).

揖保郡鷲籠山 (1ex., 27.V.1970).

宍粟郡音水 (1ex., 30.VII.1972, etc.).

水上市 [山本, 1956], 柏原 (1ex., 10.V.1953), 市島町

* [] 記録からの引用, 研究史の文献参照のこと
** () 筆者の採集したもの, 採集例の多いものは1例のみ掲げ他は省略して etc. とした。

鴨庄(1ex.,13.VIII.1957).

8. *Pseudoscymnus nagasakiensis* (H.Kamiya,1961)

ナガサキヒメテントウ

産地.

西宮市盤滝(1ex.,29.V.1987).

神戸市伊川谷(2exs.,21.IX.1988,etc.), 多井畑(1ex.,
19.VI.1990), 石井ダム(1ex.,23.X.1991).

加東郡社町三草(1ex.,14.VII.1989).

龍野市神岡町(2exs.,8.IX.1988).

9. *Pseudoscymnus nakanei* (M.Araki,1963)

ナカネヒメテントウ

産地.

多紀郡篠山[Araki,N.,1963].

10. *Pseudoscymnus pillicreps* (Lewis,1896)

オオヒメテントウ

産地.

宍粟郡音水(1ex.,21.V.1972,H.Sasaji det. in his
coll.).

11. *Pseudoscymnus sylvaticus* (Lewis,1896)

クビアカヒメテントウ

前胸背板は橙黄色。上翅は黒色で翅端部がかなり
広く橙黄色。体長2.3-2.7mm。県下にも広く分布し
ているようである。

産地.

川西市笹部[仲田,1978,1982].

宝塚市内(1ex.,22.IV.1956)

西宮市名塩[東,1993].

神戸市摩耶山(1ex.,14.VII.1955), 山の街(3exs.,5.V.
1954), 丹生山(1ex.,5.V.1956), 広野(1ex.,15.IV.
1956), 鳥原(1ex.,8.V.1983,etc.), 伊川谷(1ex.,19.
V.1988).

多可郡鳥羽(1ex.,29.IV.1972).

相生市三濃山(1ex.,3.V.1974,etc.).

宍粟郡音水(1ex.,20.VII.1969,etc.).

氷上郡[山本,1958].

12. *Nephus kaiensis* (H.Kamiya,1961)

カイヒメテントウ

産地.

神戸市鳥原(1ex.,24.V.1990).

13. *Nephus kompirasanus* (H.Kamiya,1961)

ムモンヒメテントウ

産地.

洲本市先山, 三熊山[久松,1974].

14. *Nephus osimensis* Sasaji,1976

オシマヒメテントウ

産地.

神戸市北区京地[斉藤,1993]

15. *Nephus patagiates* (Lewis,1896)

セスジヒメテントウ

体長は幅の約1.7倍。上翅の黄褐色紋は大きく通常
翅長の2/3を占め、翅端は多少とも淡色。体長1.5-1.9
mm。兵庫県下には広く分布しているようだが個体
数はそれほど多くない。

産地.

神戸市西区伊川谷(1ex.,4.X.1988).

加東郡社町三草(1ex.,1.VI.1989).

宍粟郡水谷(1ex.,17.VII.1981), 音水(1ex.,30.V.
1970).

出石郡出石町荒木[高橋,1963].

豊岡市金山[高橋,1975].

16. *Nephus phosphorus* (Lewis,1896)

アトホシヒメテントウ

触角, 口器, 腿節は暗黒褐色。前胸背板はほとんど
黒色。上翅赤紋は小さい。オオワタコナカイガラム
シの天敵として知られている。体長1.7-2.3mm。

ふつうに見ることができる。

産地.

川西市笹部[仲田,1978,1982].

宝塚市宝梅町1丁目[東,1993].

神戸市鳥原(3exs.,24.V.1979,etc.), 石井ダム(3exs.,
18.X.1991), 逢山峽(1ex.,17.V.1985), 北区八多
町屏風(1ex.,6.V.1993,etc.).

小野市来住町(8exs.,21.VI.1991,etc.).

多可郡日山(1ex.,3.V.1973).

城崎郡日高町奈佐路(1ex.,19.VI.1986).

17. *Nephus yotsumon* (H.Kamiya,1961)

ヨツモンヒメテントウ

上翅各翅に前後に並んだ2つの小赤紋を有する。
前胸背板, 体下, 各肢は黒色である。体長1.9-2.1mm。
県下での記録は少ない。

産地.

宝塚市売布3丁目[畑中,1994].

加東郡社町三草(1ex.,26.VI.1987).

18. *Scymnus (Pullus) doctratomoides* Weise, 1879

ツマアカヒメテントウ

前胸背板は橙褐色，上翅は黒色で翅端部が淡色。眼の内縁は下半において弱い明らかな弧状を示す。体長1.8-2.2mm。普通に見られる。

産地。

宝塚市玉瀬〔畑中, 1994〕。

神戸市多井畑 (2exs., 23.V.1990)。

宍粟郡水谷 (1ex., 17.VII.1981), 音水 (1ex., 31.V.1970, H.Sasaji det. in his coll., 1ex., 25.VI.1972, etc.)。

養父郡水ノ山 [H.Sasaji, 1971]。

19. *Scymnus (Pullus) gigantes* H.Kamiya, 1961

オニヒメテントウ

背面は全くの黒色，上翅被毛は細かく，複雑な多くの波状に配列する。大型で体長2.8-3.5mm。県下での記録は少ない。

産地。

洲本市三熊山 [宮武, 古木, 1973]。

神戸市逢山峡 (1ex., 11.VII.1987)。

20. *Scymnus (Pullus) posticalis* Sicard, 1912

コクロヒメテントウ

上翅端の淡色部は明瞭で，その前縁境界は前方に弧状に突出する。上翅被毛は弱く湾曲したS字形。上翅会合線近くに点刻列を有する。前頭は♂では淡色で，♀では黒色。体長1.9-2.8mm。ごく普通に産する。

産地。

津名郡岩屋 (3exs., 4.VIII.1957, etc.)。

川辺郡猪名川町木間生 [仲田, 1978]。

川西市一の鳥居, 大和, 笹部 [仲田, 1978, 1982], 能勢妙見 (1ex., 30.VII.1982)。

宝塚市内 (1ex., 22.IV.1958), 武田尾 (1ex., 25.VII.1954), 宝梅町 [東, 1993]。

西宮市武庫川 (1ex., 24.IV.1983), 船坂 (2exs., 5.VI.1987, etc.)。

神戸市六甲山 (2exs., 22.V.1987, etc.), 摩耶山 (2exs., 14.VII.1955), 布引 (3exs., 17.V.1959), 石楠花山 (1ex., 1.VI.1984), 烏原 (3exs., 25.IV.1954, etc.), 石井ダム (1ex., 18.X.1991), 垂水 (5exs., 5.V.1985), 逢山峡 (3exs., 2.VII.1982, etc.), 伊川谷 (4exs., 19.V.1988, etc.), 多井畑 (2exs., 22.VI.1990, etc.), 藍那 (1ex., 5.V.1969, etc.), 木津 (1ex., 30.V.1984), 山の街 (1ex., 5.V.1954), 丹生山 (1ex., 5.V.1955, etc.), 金剛童子山 (2exs., 24.VI.1956), 谷上 (3exs., 3.V.

1957, etc.), 長待山 (2exs., 7.V.1982), 北鈴蘭台大山公園 (1ex., 28.VI.1959), 芦谷溪谷 (2exs., 11.VI.1982), 妙法寺 (1ex., 24.IV.1979), 八多町屏風 (2exs., 12.V.1993, etc.)。

三木市細川中 (2exs., 19.IX.1985, etc.), 口吉川町 (1ex., 4.IX.1986), 大村 (1ex., 10.V.1990), 三木山志染 (3exs., 28.V.1982, etc.)。

美濃郡吉川町 (3exs., 6.VI.1985)。

小野市山田 (1ex., 18.VI.1987), 来往町 (3exs., 30.V.1981)。

加東郡東条町森 (1ex., 18.V.1984), 社町三草 (2exs., 6.VII.1989, etc.)。

飾磨郡雪彦山 (3exs., 14.VII.1957)

多可郡三谷 (1ex., 26.VIII.1975), 鳥羽 (1ex., 5.VII.1975)。

神崎郡笠形山 (1ex., 12.VI.1975), 大河内町川上 (2exs., 14.V.1977, etc.)。

朝来郡生野 (1ex., 8.VII.1956)。

揖保郡鷓籠山 (4exs., 27.V.1970), 新宮町福原 (2exs., 10.VI.1992, etc.)。

龍野市神岡町 (3exs., 21.VII.1988, etc.)。

相生市三濃山 (3exs., 7.V.1972, etc.)。

宍粟郡水谷 (1ex., 17.VII.1981), 原 (1ex., 11.V.1979), 音水 (4exs., 10.V.1970, etc.), 坂の谷 (3exs., 9.VI.1973)。

多紀郡西紀町 (現篠山市) (1ex., 27.IV.1984, Y.Hachitani leg.)。

水上郡柏原 (1ex., 10.V.1953), 山南町 (5exs., 11.VIII.1990, etc.)。

出石郡出石町三木 [高橋, 1963]。

城崎郡日高町 (2exs., 3.X.1985), 奈佐路 (3exs., 22.V.1986)。

養父郡水の山 (1ex., 2.VIII.1953)。

美方郡鉢伏山 [高橋, 1975], 扇ノ山 [辻, 1963]。

21. *Scymnus (Pullus) japonicus* Weise, 1879

クロヒメテントウ

前胸背板に明らかな橙黄色部があり，翅端の淡色部は比較的広く明瞭。上翅被毛の配列は弱く湾曲したS字形。兵庫県下の分布はわりと広く産するようである。

産地。

神戸市烏原 (1ex., 26.VI.1982, etc.), 木津 (1ex., 5.X.1984), 伊川谷 (1ex., 7.VI.1988), 多井畑 (2exs., 27.IX.1980), 藍那 (1ex., 12.X.1993)。

加東郡社町三草 (1ex., 7.V.1987)。

相生市三濃山 (1ex., 3.V.1969, etc.)。

宍粟郡音水 (1ex.,4.V.1974,H.Sasaji det. in his coll., 2exs.,25.VI.1972,etc.).

22. *Scymnus (Pullus) kawamurai* (Ohta,1929)

カワムラヒメテントウ

前胸背板は黒く、側縁と前縁は狭く淡色。翅端淡色部はきわめて狭い。体長1.8-2.6mm。兵庫県の記録はあまり多くない。

産地。

洲本市先山 [宮武,古木,1973].

三原郡福良 [宮武,古木,1973].

神戸市烏原 (1ex.,13.V.1982,etc.), 藍那 (2exs.,20.V.1993).

宍粟郡赤西 (1ex.,10.V.1970,H.Sasaji det. in his coll.).

23. *Scymnus (Pullus) chujoi* Sasaji,1982

チュウジョウヒメテントウ

体の前方及び後方は強く狭まり、側縁は中央部において強く弧状。上翅被毛は細かく密である。体長2.4-3.1mm。兵庫県下での記録は少ない。

産地。

宍粟郡音水 (1ex.,3.VI.1973,H.Sasaji det. in his coll., 1ex.,3.VI.1973).

養父郡氷の山 [1ex.,26-30.VII.1969,H.Sasaji leg., 1982].

24. *Scymnus (Pullus) osakana* M.Araki,1963

オオサカヒメテントウ

体の後方は広く半円形で、前胸背板の前方への狭まりは強くなく、体の側縁は中央部において平行に近い。上翅被毛は粗く疎である。体長2.5mm。県下ではあまり多くない。

産地。

神戸市芦谷溪谷 (1ex.,11.IX.1982), 石楠花山麓 (1ex.,1.VI.1984), 木津 (1ex.,6.X.1984), 烏原 (1ex.,3.VII.1984).

多可郡鳥羽 (1ex.,29.IV.1972).

相生市三濃山 (1ex.,29.IV.1974,etc.).

宍粟郡音水 (1ex.,21.V.1972).

多紀郡西紀町 (現篠山市) (2exs.,27.IV.1984,Y. Hachitani leg.).

25. *Scymnus (Pullus) puellaris* M.Araki,1964

アラキヒメテントウ

小型で体長1.5-1.7mm。前胸背板は黒く前角と狭い前縁が淡色。上翅は黒く翅端はきわめて狭く不明

瞭に淡色を呈する。肢は黄褐色。前胸腹板縦隆線は広く隔てられる。県下での記録はほとんどない。

産地。
神戸市烏原 (1ex.,12.V.1980,H.Sasaji det. in his coll., 1ex.,1.VI.1985,etc.).

26. *Scymnus (Pullus) rectoides* H.Sasaji,1971

ニセツマアカヒメテントウ

眼の内縁は下半においてほぼ平行、♂の腹部第5節後縁は比較的強く弧状。体長1.7-2.3mm。

産地。

神戸市烏原 (1ex.,2.V.1971,H.Sasaji det. in his coll., 1ex.,26.IV.1982,etc.).

養父郡氷の山 [H.Sasaji,1971].

27. *Scymnus (Pullus) ruficeps* (Ohta,1929)

ナガヒメテントウ

上翅被毛配列は翅端部を除けばほとんどまっすぐ。小型で長く体長1.6-2.1mm。長さは幅の1.5倍以上、前胸背板前縁と翅端部が不明瞭に暗褐色。県下には広く分布しているように思われる。

産地。

神戸市烏原 (1ex.,14.V.1972,etc.).

揖保郡鷓籠山 (1ex.,27.V.1970).

相生市三濃山 (1ex.,3.V.1974,H.Sasaji det. in his coll.).

宍粟郡音水 (1ex.,10.V.1970,etc.).

養父郡氷の山 [1♀,11.VII.1967,H.Sasaji leg.,1971].

28. *Scymnus (Pullus) syoitii* Sasaji,1971

キイロヒメテントウ

背面一様に橙黄色である。県下での記録はほとんどない。

産地。

神戸市烏原 (1ex.,16.XI.1975,H.Sasaji det. in his coll.).

29. *Scymnus (Pullus) takabayashi* (Ohta,1929)

タカバヤシヒメテントウ

やや大型(体長2.8-3.0mm)で、側縁は中央部において弱く弧状、上翅被毛の配列は弱いS字形、上翅の会合線近くに点刻列を欠く。あまり多くない。

産地。

美濃郡吉川町 (1ex.,13.IX.1985).

三木市口吉川町菅原 (2exs.,3.X.1986,etc.).

城崎郡日高町奈佐路 (3exs.,22.V.1986,etc.).

30. *Scymnus (Scymnus) paganus* Lewis, 1896

トビイロヒメテントウ

体長2.2-2.7mm. 全体褐色から黄褐色で、被毛は黄色。

産地。

宍粟郡音水(1ex., 11.VI.1972, H. Miyatake leg., 1ex., 3.VI.1973).

31. *Scymnus (Neopullus) babai* Sasaji, 1971

ババヒメテントウ

産地。

宝塚市武田尾[小田中, 1994].

32. *Scymnus (Neopullus) fuscatus* Bohemann, 1858

カバイロヒメテントウ

上翅被毛は長く細く黄色を帯び、比較的緩やかなS字形に配列する。体下は褐色で、肢よりもやや淡色。体長1.9-2.3mm. 県下には広く分布している。

産地。

神戸市広野(1ex., 15.IV.1956), 垂水(2exs., 10.V.1985), 谷上(1ex., 1.VI.1986), 伊川谷(1ex., 4.X.1988).

高砂市[Ohta, 1925].

美濃郡吉川町(5exs., 13.IX.1985, 22exs., 19.IX.1985), 吉川町奥山(1ex., 8.V.1986).

加東郡社町三草(1ex., 1.VI.1989).

氷上郡水上町生郷, 育垣町芦田[山本, 1958].

33. *Scymnus (Neopullus) otohime* H. Kamiya, 1961

オトヒメテントウ

卵形で長さは幅の約1.5倍。背面は黒く上翅の後側方に小さく長卵形の赤紋がある。クレイガアブラムシの天敵。体長1.4-1.6mm. 県下にも広く分布しているように思われる。

産地。

宝塚市玉瀬[小田中, 1994].

神戸市鳥原(2exs., 19.VI.1982, etc.), 逢山峡(1ex., 27.VI.1987), 石井ダム(1ex., 22.X.1991), 藍那(1ex., 20.V.1993, etc.).

佐用郡大撫山(4exs., 25.IV.1976, H. Sasaji det., 1ex., in his coll.).

34. *Scymnus (Neopallus) hoffmanni* Weise, 1879

クロヘリヒメテントウ

体長1.5-2.3mm. 上翅は黒色で各翅に赤い縦条があるが、その幅には変化がある。前胸背板は強く弧状に前方に狭くなる。県下には広く分布している。

産地。

洲本市三熊山[宮武, 古木, 1973]

川西市大和[仲田, 1979].

Kobe [Lewis, 1896].

神戸市鳥原(1ex., 10.IX.1980, etc.), 伊川谷(1ex., 7.VI.1988, etc.).

小野市来住町(12exs., 12.IX.1991).

龍野市神岡町(2exs., 14.IX.1988).

宍粟郡音水(1ex., 25.VI.1972, M. Miyatake det.).

出石郡出石町安良[高橋, 1963].

35. *Chilocorus kuwanae* Silvestri, 1909

ヒメアカホシテントウ

体長3.3-4.9mm. 上翅の斑紋は小さい。前頭の点刻間表面は鮫肌状。各種カイガラムシ類の有力な天敵である。兵庫県下には広く普通に産する。

産地。

Awajishima, 2exs., IV.17.1909, Thomson leg. [Miyatake, 1970].

津名郡岩屋(1ex., 29.VI.1959), 常陸寺山(1ex., 20.IV.1974), [宮武, 古木, 1973], 津名郡大町[堀田, 1978].

三原郡福良, 灘[宮武, 古木, 1973].

洲本市桑間[堀田, 1978], 中川原町厚浜[藤富, 1995].

川辺郡猪名川町木間生[仲田, 1978, 1982], 槻並(1ex., 2.VII.1978), [仲田, 1978, 1982].

川西市大和笹原[仲田, 1978], 能勢妙見山(2exs., 30.VII.1982).

芦屋市(1ex., 6.III.1958).

Kobe, Honshu [1ex., 8.V.1909, J.C. Thomson leg., Miyatake, 1970].

神戸市六甲山(1ex., 10.VII.1955, etc.), 丹生山(3exs., 5.V.1956), 谷上(1ex., 29.IV.1958), 藍那(1ex., 14.VI.1978, etc.), 長待山(2exs., 7.V.1982), 逢山峡(2exs., 2.VIII.1982), 須磨[戸沢, 1936], 伊川谷(1ex., 13.V.1988, etc.), 多井畑(1ex., 23.V.1990, etc.), 鳥原(2exs., 30.III.1939, etc.), 八多町屏風(4exs., 6.V.1993, etc.).

美濃郡吉川町(2exs., 27.VI.1985, etc.).

三木市細川中(1ex., 11.VII.1985, etc.), 口吉川町(1ex., 3.VII.1986, etc.), 笹原(1ex., 3.X.1986), 志染(1ex., 9.IX.1992).

小野市山田(2exs., 8.VII.1987, etc.).

加西市畑(1ex., 23.VI.1974).

加東郡東条町森(2exs., 7.VI.1984, etc.), 社町三草(1ex., 17.VI.1987, etc.), 社町三草(2exs., 6.VII.

1989).

- 多可郡白山(1ex.,27.V.1973), 鳥羽(1ex.,5.VII.1975).
 神崎郡大河内町砥峰(2exs.,7.V.1977,etc.).
 飾磨郡家島[上田,1981].
 揖保郡新宮町福原(6exs.,7.VII.1992,etc.).
 相生市三濃山(1ex.,3.V.1969,etc.).
 宍粟郡福知溪谷(1ex.,20.VI.1976), 坂の谷(1ex.,9.VI.1973).
 多紀郡雨石山[Hayashi etc.,1995].
 出石郡出石町小人[高橋,1963].
 城崎郡香住(1ex.,VIII.1958), 竹野町三原,三川山[高橋,1975], 日高町奈佐路(2exs.,23.V.1986).
 豊岡市内, 蘇武岳[高橋,1975].
 養父郡水の山(2exs.,21.VII.1958).
 美方郡扇ノ山[辻,岸田,1972].

36. *Cryptogonus orbiculus* (Gyllenhal,1808)

フタモンクロテントウ

体長2.1-2.8mm. 前胸腹板隆起線は前縁に達しない。前頭は♂では黄色で♀では黒色。中, 後腿節はふつう暗褐色。県下には広く分布している。

産地。

- 川西市見野, 笹部[仲田,1970,1978,1982].
 池田市中川原[東,1993].
 神戸市北区藍那(1ex.,26.V.1993), 八多町屏風(1ex.,12.V.1993).
 神崎郡笠形山(1ex.,12.VI.1975).
 宍粟郡音水(3exs.,30.V.1970,etc.).
 豊岡市妙楽寺[高橋,1978].

37. *Hyperaspis (Hyperaspis) asiatica* Lewis,1896

ツマフタホシテントウ

体長2.6-3.3mm. フタホシテントウに似るが上翅斑紋の位置で区別される。♂は頭部と前胸背板側方が淡黄色, ♀も狭く黄色。あまり多くない。

産地。

- 川西市一の鳥居, 一庫[仲田,1978,1982].
 神戸市六甲山(1ex.,29.V.1987), 丹生山(1ex.,18.V.1958), 山の街(1ex.,23.VI.1969).
 美方郡扇ノ山[辻,岸田,1972, 高橋,1975].

38. *Hyperaspis (Hyperaspis) japonica* (Crotch,1874)

フタホシテントウ

体長2.0-3.1mm. 斑紋の類似した小型テントウムシとは背面の被毛を欠くことで容易に区別されるコナカイガラムシ類の天敵として知られている。普通

に産する。

産地。

- 津名郡岩屋(2exs.,25.IV.1959), 常隆寺山[宮武,古木,1973].
 三原郡福良[宮武,古木,1973].
 川西市笹部[仲田,1978,1982].
 西宮市船坂(1ex.,21.V.1987,etc.).
 神戸市六甲山(1ex.,23.V.1987), 山の街(2exs.,7.VII.1949), 下谷上(1ex.,12.X.1979), 須磨(1ex.,7.VII.1982,Y.Hachitani leg.), 鳥原(3exs.,11.VII.1939,etc.), 石井ダム(1ex.,22.X.1991), 伊川谷(1ex.,19.V.1988), 藍那(2exs.,28.IV.1993,etc.).
 三木市口吉川町(1ex.,11.IX.1986).
 小野市山田(1ex.,22.VII.1987), 来住町(1ex.,9.V.1991).
 多可郡三谷(1ex.,29.IV.1975,etc.).
 神崎郡大河内町川上(1ex.,7.V.1977,etc.).
 龍野市神岡町(3exs.,26.V.1988).
 相生市三濃山(1ex.,3.V.1969,etc.).
 宍粟郡音水(3exs.,10.V.1970,etc.).
 多紀郡雨石山[Hayashi etc.,1995].
 水上郡[山本,1958], 山南町(2exs.,5.VIII.1990).
 出石郡出石町魚屋[高橋,1963].
 城崎郡竹野[高橋,1976], 日高町奈佐路(1ex.,23.V.1986).
 養父郡水の山(1ex.,2.VIII.1953).
 美方郡扇ノ山[辻,1963].

39. *Amida tricolor* (Harold,1878)

アマダテントウ

体長4.0-4.6mm. 特異な斑紋は安定している。幼虫・成虫ともにアオバハゴロモの幼虫を捕食する。県下での記録はあまりない。

産地。

- 宝塚市武田尾溪流[小田中,1994].
 城崎郡城崎[高橋,1975].
 養父郡水の山(1ex.,2.VIII.1953).
 美方郡浜坂[高橋,1975].

40. *Telsimia nigra* (Weise,1879)

クロテントウ

体長1.5-2.1mm. 背面は黒から黒褐色で, 腿節は黒褐色, 脛節は暗褐色。上翅被毛は多少とも波曲したS字形に配列。マルカイガラムシの天敵として知られている。県下に広く産する。また, 神戸市内には普通である。

産地。

津名郡常隆寺山[宮武,古木,1973].
 三原郡福良,灘[宮武,古木,1973].
 伊丹市[河上,1985].
 西宮市船坂(2exs.,5.VI.1987).
 神戸市藍那(1ex.,14.VII.1978), 鳥原(2exs.,5.X.
 1982,etc.).
 三木市口吉川町(3exs.,4.IX.1986,etc.).
 加東郡東条町森(1ex.,11.V.1984).
 相生市三濃山(1ex.,3.V.1974,J.Sasaji det. in his
 coll.).
 豊岡市神武山[高橋,1975].

41. *Phymatosternus lewisii* (Crotch,1874)

ヨツボシテントウ

体長2.9-3.7mm. 上翅は各翅周辺が黒く2対の黒紋をもつ。まれに小楯板わきの小赤紋を残して黒化することがあるという。兵庫県では分布も広く普通に産する。

産地。

川辺郡猪名川町槻並(2exs.,2.V.1978).
 川西市多田(1ex.,22.VI.1942), 見野,笹部[仲田,
 1978,1982], 能勢妙見山(2exs.,30.VII.1982).
 宝塚市切畑[東,1993].
 Kobe[Lewis,1896], Maiyasan[Lewis,1893].
 神戸市六甲山(1ex.,28.V.1987), 箕谷(1ex.,18.V.
 1948), 丹生山(2exs.,5.V.1956), 鳥原(2exs.,5.V.
 1982,etc.), 石井ダム(2exs.,22.X.1991), 谷上
 (1ex.,4.VI.1986), 藍那(1ex.,21.IV.1993,etc.), 多
 井畑(3exs.,26.VII.1990,etc.).
 三木市大村(1ex.,10.V.1990).
 小野市山田(1ex.,22.VII.1987).
 加東郡社町三草(1ex.,6.VII.1989,etc.).
 龍野市神岡町(1ex.,19.V.1988,etc.).
 宍粟郡音水(1ex.,24.VI.1972).
 水上郡春日町黒井(1ex.,9.VII.1957).
 豊岡市妙楽寺[高橋,1975].
 城崎郡香住町(1ex.,VIII.1958), 円山川堤[高橋,
 1975], 日高町奈佐路(1ex.,19.VI.1986).
 養父郡氷の山(1ex.,2.VIII.1953).

42. *Chilocorus rubidus* Hope,1831

アカホシテントウ

体長5.8-7.2mm. 上翅に縦長の赤紋があるが、赤色で周縁部が黒色。胸部下面は赤褐色。タマカイガラムシの天敵である。県下に広く分布していると考えられるが、記録は意外と少ない。
 産地。

洲本市安乎町[堀田,1978], 中河原町厚浜[藤富,
 1995].
 川西市笹部[仲田,1978,1982].
 伊丹市昆陽池[河上,1985].
 西宮市甲東園[東,1993].
 神戸市六甲山(1ex.,6.X.1939), 原田(1ex.,31.VIII.
 1911, Van Dyke in California Academy Science
 [宮武,1970].
 Harima,Japan(*f.fenestratus* Weise) 1ex.,V.1916, Van
 Dyke in California Academy Science[宮武,1970].
 水上郡柏原[山本,1958].
 養父郡氷の山[高橋,1975].

43. *Rodolia cardinalis* (Mulsant,1850)

ベダリアテントウ

体長3.3-3.8mm. 上翅は赤色で黒紋がある。上翅の会合部は黒く、ふつう中央でひろがり、ほかに2対の黒紋があり、その後紋は外縁に達することがある。イセリアカイガラムシの天敵としてよく知られている。県下の記録はそれほど多くない。

産地。

三原郡三原町八木養宜[藤富,1995].
 川辺郡猪名川町木間生[仲田,1978,1982].
 川西市笹部[仲田,1978,1982].
 西宮市上葭原町,甲子園[東,1993].
 神戸市鳥原(7exs.,19.IX.1943,etc.).
 飾磨郡家島[上田,1981].
 多紀郡雨石山[林ほか,1995].
 水上郡柏原[上田,1960].

44. *Rodolia concolor* (Lewis,1879)

アカイロテントウ

体長3.5-3.7mm. 背面は暗赤色。頭部,後胸,肢は黒褐色。体の中央より少し前で最大幅となる。普通種であるが記録は意外と少ない。

産地。

川西市笹部[仲田,1978,1982].
 Kobe[Lewis,1896], Maiyasan[Lewis,1873], 六甲山
 (2exs.,10.VII.1955), 摩耶山(1ex.,14.VIII.1955),
 生田区神戸税関構内(4exs.,1.VII.1939), 鳥原
 (1ex.,15.VI.1982,etc.), 逢山峽(1ex.,7.VII.1987,
 etc.).
 小野市山田(1ex.,24.IX.1987).

45. *Rodolia limbata* (Motschulsky,1866)

ベニヘリテントウ

体長3.9-5.4mm. 上翅は黒く、周縁部と会合部が

やや幅広く赤色。オオワラジカイガラムシの天敵である。兵庫県下には広く普通に産する。

産地。

- 津名郡常陸寺山(1ex.,20.IV.1974).
 洲本市先山,三熊山[宮武,古木,1974], 中河原町厚浜[藤富,1995].
 三原郡諭鶴羽山[塚田,1978].
 川辺郡猪名川町木間生[仲田,1978,1982].
 川西市黒川,笹部[仲田,1978,1982], 花屋敷[東,1993].
 伊丹市[河上,1985].
 尼崎市北部[東,1993].
 宝塚市西谷西部少年自然ノ家付近[東,1993].
 神戸市六甲山(1ex.,10.VII.1955,etc.), 保久良山(1ex.,12.V.1978), 摩耶山(1ex.,14.VIII.1955), 布引(1ex.,29.IV.1938,etc.), 鳥原(3exs.,24.III.1939,etc.), 石井ダム(2exs.,1.V.1992,etc.), 箕谷(1ex.,24.VI.1948), 谷上(1ex.,3.V.1957), 広野(4exs.,15.IV.1956), 逢山峡(1ex.,2.VII.1982), 須磨[戸沢,1936], 垂水(1ex.,10.V.1985), 伊川谷(2exs.,6.VII.1988).
 小野市山田(2exs.,18.VI.1987).
 飾磨郡曾彦山(1ex.,14.VII.1957), 家島[上田,1981].
 多可郡三谷(1ex.,8.VI.1975), 鳥羽(1ex.,1.VI.1975).
 神崎郡大河内町砥峰(1ex.,7.V.1977,etc.).
 相生市三濃山(3exs.,3.V.1969,etc.).
 宍粟郡音水(1ex.,10.V.1970,etc.), 福知溪谷(1ex.,3.VI.1975), 坂の谷(1ex.,9.VI.1973).
 多紀郡雨石山[林ほか,1995].
 水上郡山南町(4exs.,5.VII.1990).
 養父郡水ノ山(1ex.,27.VII.1957,etc.).
 美方郡扇ノ山[辻,1963, 辻,岸田,1972].

46. *Rodolia rufocincta* Lewis,1896

アカヘリテントウ

体長4.0-5.6mm. 上翅は黒く周縁部だけがきわめて細く赤色。県下の記録は少ない。

産地。

- 相生市三濃山(1ex.,6.V.1973).
 水上郡柏原[2.III.1951,山本,1958].
 城崎郡日高町奈佐路(1ex.,22.V.1986).

47. *Anisostica kobensis* Lewis,1896

ジュウクホシテントウ

体長3.8-4.1mm. 淡黄色で頭部に1対, 前胸背板に3対, 上翅に19個の黒点がある。時に一部あるい

はほとんど消失することがあるという。種名にあるとおり神戸に Kawasaki(湊川が海に注ぐところ, ほぼ神戸市の中央部)にて採集のもので命名された種である(Ann. Mag. Nat. Hist.,(6)XVII:25-26,1896). その後その付近での産は知られていない。状況変化で絶滅したと考えられる。

宝塚の池畔では筆者も採集したことはあるが, こも現在池が消滅して生息の確認はできていない。その他, 兵庫県下の記録は今のところ全く見られない種である。

産地。

- 宝塚市内(3exs.,22.IV.1956, 1ex.,19.IV.1958), [東,1993].

Kawasaki near Kobe, a small species found under reeds in September).

48. *Hippodamia tredecimpunctata timberlakei* Capra, 1931

ジュウサンホシテントウ

体長5.6-6.2mm. 前胸背板中央部は前縁を除き黒色, 上翅は橙色地に13個の黒紋があるがしばしば一部が消失する。県下の記録は1箇所のみしか知らない。

産地。

- 宝塚市大原野[3exs.,12.V.1990,森,1991, 東,1993].

49. *Coccinella explanata* Miyatake,1963

ココノホシテントウ

体長5.1-6.8mm. 各上翅の黒紋は1 $\frac{1}{2}$ -2-1. 県下の記録は次のものを知るだけである。

産地。

- 兵庫[Lewis,1896=*C.transversoguttata* Faldermann].

50. *Coccinella septempunctata* Linnaeus,1758

ナナホシテントウ

よく知られているテントウムシである。兵庫県下にも広く普通に産する。

産地。

- 津名郡岩屋(1ex.,24.V.1942), 常陸寺山(1ex.,20.IV.1974),[宮武,古木,1973].
 洲本市先山[宮武,古木,1973, 堀田,1976], 中川原町厚浜[藤富,1995].
 川辺郡猪名川町上阿古谷,上原[仲田,1978,1982].
 川西市見野,笹部[仲田,1978,1982].
 伊丹市[河北,1984].
 宝塚市北部,西谷西部少年自然の家付近[東,1993].
 西宮市香櫨園(1ex.,2.V.1941,etc.), 岡田山[前多ほか,1974].

Hiogo [Heyden, 1879].

神戸市六甲山 (1ex., 1.VII.1955, etc.), [増田, 1941],
 鳥原 (1ex., 2.V.1939, etc.), 石井ダム (2exs., 18.X.
 1991), 藍那 (3exs., 21.IV.1993, etc.), 広野 (1ex., 15.
 IV.1956), 高取山 [増田, 1941], 西代 [増田, 1939],
 板宿 [増田, 1939], 木津 (1ex., 27.VII.1984, etc.),
 下谷上 (1ex., 6.IX.1979), 妙法寺 (1ex., 14.IV.
 1978), 押部谷木見 (1ex., 23.VI.1980), 垂水 (2exs.,
 10.V.1985), 伊川谷 (2exs., 13.V.1988, etc.), 多井
 畑 (2exs., 27.IX.1990), 八多町屏風 (4exs., 12.V.
 1993).

高砂市 (1ex., 30.V.1954).

三木市細川中 (1ex., 30.V.1985), 口吉川 (1ex., 3.VII.
 1986).

美濃郡吉川 (2exs., 30.V.1985).

小野市来住町 (1ex., 11.IV.1991, 1ex., 9.V.1991).

加西市畑 (1ex., 23.VI.1974).

加東郡東条町森 (2exs., 29.IV.1984), 社町三草
 (2exs., 22.V.1989).

多可郡市原 (2exs., 24.IX.1972), 三谷 (1ex., 29.IX.
 1974, etc.), 鳥羽 (2exs., 5.VII.1975).

神崎郡笠形山 (1ex., 12.VI.1975), 大河内町砥峰
 (2exs., 4.VI.1977).

飾磨郡雪彦山 (1ex., 5.XII.1976), 家島 (1ex., 26.V.
 1978), [畑中, 辻, 1973, 上田, 1981].

龍野市神岡町 (1ex., 26.V.1988).

揖保郡新宮町福原 (1ex., 15.V.1992).

赤穂市天和 (1ex., 6.X.1974).

宍粟郡水谷 (1ex., 17.VII.1981).

氷上郡 [山本, 1958].

出石郡三川山 [高橋, 1975].

養父郡氷ノ山 (1ex., 2.VIII.1953).

美方郡扇ノ山 [辻, 1963, 辻, 岸田, 1972, 高橋, 1975].

51. *Coccinula crotchii* (Lewis, 1879)

マクガタテントウ

体長3.0-3.8mm. 上翅は黒色で両肩部に2対の安
 定した橙色紋を有する。あまり多くない。

産地.

伊丹市 [中根, 1955].

宝塚市仁川 (1ex., 21.X.1956), 宝塚 [東, 1993].

神戸市摩耶山 [Lewis, 1896].

揖保郡 [大上, 1907].

氷上郡生郷, 久下, 佐治 [山本, 1958].

出石郡出石町中野 [高橋, 1963].

城崎郡日高町久斗 [高橋, 1978], 府市場 [高橋,
 1978].

52. *Oenopia (Synharmonia) hirayamai* (Yuasa, 1963)

ウスキホシテントウ

体長3.3-4.0mm. 上翅黒色部の外縁は四角に突出
 する。会合線に沿った黄紋は3対。兵庫県下の記録
 はそれほど多くない。

産地.

川西市笹部 [仲田, 1978, 1982].

神戸市六甲山 [1ex., 18.V.1941, K. Taniguchi leg., H.
 Sasaji, 1971], 山田~六甲山 [東, 1993], 山の街
 (1ex., 7.VI.1959), 逢山峽 (2exs., 28.VII.1987), 八
 多町屏風 (1ex., 6.V.1993).

美濃郡吉川町奥山 (2exs., 10.VI.1986).

出石郡出石町中村 [高橋, 1963].

城崎郡三川山 [高橋, 1975].

53. *Oenopia (Protocaria) scalaris* (Timberlake, 1943)

ムツキボシテントウ

体長3.3-3.9mm. 上翅黒色部の外縁は波形。本種
 も県下での記録は少ない。

産地.

西宮市香櫨園 (1ex., 2.V.1941).

神戸市山の街 (1ex., 15.VIII.1949).

小野市来住町 (1ex., 30.V.1991).

54. *Propylea japonica* (Thunberg, 1781)

ヒメカメノコテントウ

よく知られているテントウムシの1種。上翅の肩
 部と後側方に黒紋が2個づつあるが分離することは
 ない。体長3.0-4.6mm. 県下に広く産する。

産地.

津名郡常陸寺山 (1ex., 20.IV.1974), 津名町大町 [堀
 田, 1978].

洲本市先山 [宮武, 古木, 1973], 桑間町 [堀田, 1978],
 中川原町厚浜 [藤富, 1995].

三原郡福良, 輪鶴羽山 [宮武, 古木, 1973].

川辺郡猪名川町槻並 [仲田, 1970].

川西市笹部, 大和 [仲田, 1978, 1982].

伊丹市 [河上, 1985].

宝塚市宝梅1丁目 [東, 1933].

西宮市香櫨園 (1ex., 7.V.1941), 船坂 (1ex., 21.V.
 1987), 岡田山 [前多ほか, 1974].

神戸市六甲山 (1ex., 10.VII.1955, etc.), 鳥原 (1ex., 31.
 III.1938, etc.), 藍那 (2exs., 22.V.1978, etc.), 丹生
 山 (5exs., 5.V.1956), 金剛童子山 (1ex., 24.VI.
 1956), 広野 (2exs., 15.IV.1956), 長田 [増田, 1939],

太山寺 (1ex., 21.IV.1967), 芦谷溪谷 (1ex., 13.IX.
 1978).

1982), 須磨[戸沢,1936], 木津(2exs.,30.V.1984), 伊川谷(1ex.,6.VII.1988,etc.), 多井畑(1ex.,19.VI.1990,etc.), 八多町屏風(1ex.,15.IV.1993,etc.). 美濃郡(3exs.,27.VI.1985,etc.), 奥山(1ex.,8.V.1986, etc.). 三木市細川中(1ex.,13.IX.1985), 口吉川町(1ex.,14.VII.1986,etc.), 三木山志染(1ex.,28.V.1992,etc.). 小野市来住町(3exs.,4.IX.1991,etc.). 加東郡東条町森(1ex.,11.V.1984,etc.), 社町三草(2exs.,17.VI.1987,etc.). 加古川市(1ex.,21.IV.1968). 多可郡白山(1ex.,3.V.1973), 三谷(1ex.,8.VI.1975, etc.), 烏羽(1ex.,8.V.1976). 神崎郡笠形山(1ex.,12.VI.1975), 大河内町砥峰(1ex.,21.V.1977,etc.). 飾磨郡家島[上田,1981]. 龍野市神岡町(1ex.,19.V.1988,etc.). 揖保郡新宮町福原(1ex.,15.V.1992,etc.). 相生市三濃山(1ex.,7.V.1972,etc.). 佐用郡上月(1ex.,3.V.1952). 宍粟郡福知溪谷(1ex.,20.VI.1976), 音水(1ex.,10.V.1970,etc.). 氷上郡[山本,1958]. 出石郡出石町小人[高橋,1965]. 城崎郡三川山,香住町生池[高橋,1975], 日高町奈佐路(1ex.,3.X.1985,etc.). 養父郡水ノ山(1ex.,2.VIII.1953), [高橋,1975]. 美方郡扇ノ山[辻,1963, 辻,岸田,1972].

suturata-form. 上翅の会合部だけが黒いもの。
産地。
津名郡岩屋(2exs.,23.VI.1974). 宝塚市武田尾(1ex.,30.V.1954). 神戸市六甲山(1ex.,25.V.1987), 鳥原(1ex.,14.X.1954,etc.), 藍那(1ex.,27.VI.1978), 太山寺(1ex.,3.V.1967,etc.), 多井畑(1ex.,27.IX.1990). 高砂市(1ex.,30.V.1954). 美濃郡吉川町(2exs.,13.IX.1985). 三木市口吉川町笹原(1ex.,26.IX.1986). 加西市畑(1ex.,23.VI.1974). 龍野市神岡町(1ex.,8.IX.1988). 宍粟郡福知溪谷(1ex.,20.VI.1976).

55. *Calvia (Anisocadvia) quadredecimguttata* (Linne,1758) シロジュウシホシテントウ

体長4.4-6.0mm. 基本型は黄褐色地に白紋が各翅1-3-2-1に配列する。暗色型は前胸背板と上翅の地色が黒褐色となる。紅型は背面地色は紅赤色で、

前胸背板に1対, 上翅に12個の黒紋があり, そのうち3個は会合線上にまたがる。県下の分布はそれほど多くない。

産地。

川辺郡猪名川町槻並[仲田,1982]. 神戸市六甲山(5exs.,4.VI.1987,etc.), 摩耶山[宮武,1978], 鳥原(2exs.,25.IV.1985,etc.). 神崎郡大河内町砥峰(1ex.,18.VI.1977). 多紀郡雨石山[Hayashi etc.,1995]. 出石郡出石町鮎屋[高橋,1963]. 城崎郡日高町奈佐路(4exs.,22.V.1986). 養父郡水ノ山(1ex.,21.VII.1958).

56. *Calvia (Calvia) decemguttata* (Linnaeus,1767)

シロトホシテントウ

体長4.5-6.0mm. 各上翅の白紋は2-2-1に配列するが, 消失し全体が淡黄色になることがあるという。県下に広く分布している。とくに神戸市内には普通に見られる。

産地。

川西市笹部[仲田,1978,1982], 能勢妙見(1ex.,30.VII.1982). 神戸市鳥原(2exs.,25.V.1981,etc.), 逢山峡(1ex.,7.VII.1987), 藍那(1ex.,26.V.1993), 北区大山公園(1ex.,23.VII.1982,Y.Hachitani leg.). 宍粟郡音水(1ex.,3.VI.1973), 赤西(1ex.,9.IX.1978, etc.), 波賀町上野[相坂,1995]. 多紀郡雨石山[Hayashi etc.,1995]. 養父郡水の山[高橋,1975]. 美方郡扇ノ山[辻,1963, 辻,岸田,1972].

57. *Calvia (Eocaria) muiri* (Timberlake,1943)

ムアシロホシテントウ

体長4.0-5.1mm. 背面は黄褐色で前胸背板に4個の白紋が横列し, 上翅に2-2-2-1に配列する白紋がある。そのうち会合線に沿う前方3個は弧状に並ぶ。

兵庫県下に広く分布していると思われるが, 県北部からの記録があまりない。神戸市内ではきわめて普通に産する。

産地。

洲本市三熊山[宮武,古木,1973]. 川西市笹部, 芋生[仲田,1979,1982], 能勢妙見(1ex.,30.VII.1982). 神戸市六甲山(1ex.,29.V.1987), 保久良山(1ex.,2.XI.1977), 布引(1ex.,17.V.1959), 教育植物園(1ex.,14.VII.1957), 山の街(1ex.,3.VII.1955), 鳥

原 (3exs., 7.V.1979, etc.), 多井畑 (1ex., 27.IX.1990), 伊川谷 (1ex., 19.V.1988), 藍那 (1ex., 28.IV.1993), 八多町屏風 (1ex., 12.V.1993), 逢山峽 (1ex., 27.VI.1977), 石井ダム (1ex., 1.V.1992). 西鈴蘭台大山公園 (1ex., 23.VII.1982).

加東郡社町三草 (1ex., 6.VII.1989).
飾磨郡雪彦山 (1ex., 14.VII.1957).
相生市三濃山 (1ex., 6.V.1973).
多紀郡雨石山 [Hayashi etc., 1995].

58. *Calvia (Eocaria) quindecimguttata* (Fabricius, 1777) シロジウゴホシテントウ

体長4.9–5.2mm. ムーアシロホシテントウに似ているが, 前胸背板の白紋は2または3個で, 上翅の会合線に沿う前方3個は会合線にほぼ平行に並ぶ。県下の記録は少ない。

産地。

伊丹市昆陽池 [河上, 1995].
神戸市山の街 (1ex., 1.VI.1958, etc.), 箕谷 (1ex., 18.V.1948), 丹生山 (1ex., 5.V.1956), 金剛童子山 (1ex., 24.VI.1956).

59. *Aiolacaria hexaspilota* (Hope, 1831) カメノコテントウ

体長8.0–11.7mm. 体形は円形に近く, 前胸背板と上翅が接する幅は上翅基部の約3/4. 上翅側方の幅は広く体長の約1/7以上, まれに上翅は完全に黒色となる。よく知られたテントウムシで兵庫県全般に分布しており場所によっては多く産する。

産地。

川西市見野, 笹部 [仲田, 1978, 1982].
宝塚市北部西谷, 芝辻新田, 武田尾 [東, 1993].
神戸市六甲山 (1ex., 3.V.1938, etc.), 布引 (2exs., 17.VII.1959), 西鈴蘭台大山公園 (1ex., 30.IV.1938), 伊川谷 (1ex., 7.VI.1988).
加東郡東条町森 (11exs., 7.VI.1984, etc.).
多可郡烏羽 (1ex., 29.IV.1972).
相生市三濃山 (1ex., 7.V.1972).
宍粟郡音水 (1ex., 11.VI.1972, etc.), 坂の谷 (3exs., 9.VI.1973), 波賀町上野 [相坂, 1995].
多紀郡篠山 [岩田, 1975].
水上郡神楽 (1ex., 19.VI.1952).
豊岡市妙楽寺 [高橋, 1975].
城崎郡三川山 [高橋, 1975].
養父郡氷の山 (1ex., 12.VII.1955, etc.).

60. *Anatis halonis* Lewis, 1896

ウンモンテントウ

体長6.7–8.5mm. 白色部に囲まれた中黒の眼状紋が2–3–3–1に配列する。この眼状紋の一部が消失することがあるとのこと。県下の記録は少ない。

産地。

神戸市摩耶山 (1ex., 2.V.1985).
神崎郡笠形山 (1ex., 12.VI.1966, etc.).
城崎郡三川山 [高橋, 1975].
養父郡氷の山 (1ex., 2.VIII.1953).

61. *Callicaria superba* (Mulsant, 1953)

ハラグロオオテントウ

体長11.0–12.0mm. 前胸背板に1対の小黒紋があり, 上翅黒紋は1–3–3に配列。胸部下面と腹部中央部は黒色。兵庫県下には広く産する。とくに神崎郡の砥峰登山道麓にはきわめて多く産する。

産地。

川辺郡猪名川町槻並 [仲田, 1978].
川西市笹部 [仲田, 1982].
宝塚市 [奥谷, 1976], 佐曾利 [奥谷, 1980], 北部西谷西部, 少年自然の家, 松尾台クワ樹上, 香合新田 [東, 1993].
西宮市 [中根, 1955].
神戸市摩耶山 [増田, 橋本, 1940].
神崎郡大河内町川上 (25exs., 21.V.1977, etc.).
宍粟郡原 (1ex., 11.V.1979).
水上郡柏原 [山本, 1958].
城崎郡日高町奈佐路 (1ex., 22.V.1986).

62. *Harmonia axyridis* (Pallas, 1773)

ナミテントウ

体長4.7–8.2mm. 前胸背板は黒色で側方に白色部を持つが, 白色で中央に2対の黒紋またはM字型紋を持つなど変異があり, 上翅の斑紋には多くの型ある。日本産テントウムシの最普通種である。兵庫県下各地に広く分布し, 普通に見られる。

産地。

津名郡岩屋 (1ex., 18.IV.1955), 常陸寺山 [宮武, 古木, 1973].
洲本市安乎町, 山武牧場, 先山 [堀田, 1978], 中川原町厚浜 [藤宮, 1995].
三原郡論鶴羽山 [堀田, 1978].
川辺郡猪名川町上阿古谷 [仲田, 1970, 1978, 1982].
川西市多田 (1ex., 4.VIII.1941, etc.), 見野, 笹部, 大和 [仲田, 1978, 1982], 能勢妙見 (1ex., 30.VII.1982).
伊丹市 [河上, 1984].
宝塚市南口2丁目 [新家, 1989], 北部西谷 [東,

1993].

西宮市香炉園 (1ex.,10.V.1954,etc.).
 神戸市六甲山 (5exs.,27.VII.1939,etc.), 摩耶山 (1ex.,
 14.VII.1955), 東灘 [芳賀,1974], 烏原 (9exs.,11.
 VII.1938,etc.), 石井ダム (1ex.,22.X.1991,etc.),
 藍那 (2exs.,21.VI.1993,etc.), 山の街 (1ex.,16.V.
 1954,etc.), 箕谷 (9exs.,6.VI.1948,etc.), 金剛童子
 山 (9exs.,6.VI.1948,etc.), 大池 (2exs.,22.VII.1938,
 etc.), 広野 (1ex.,10.VII.1955,etc.), 逢山峡 (2exs.,
 2.VII.1982), 木津 (5exs.,30.V.1984,etc.), 西鈴蘭
 台大山公園 (1ex.,23.VII.1982,Y.Hachitani leg.),
 須磨 [戸沢,1936], (1ex.,9.VI.1982,Y.Hachitani
 leg.), 伊川谷 (1ex.,29.VI.1988), 多井畑 (1ex.,19.
 VI.1990), 八多町屏風 (2exs.,12.V.1993,etc.).
 明石市林崎 (2exs.,13.IV.1983).
 美濃郡吉川町 (2exs.,6.VI.1985,etc.).
 三木市口吉川町 (1ex.,14.VII.1986), 三木山志染
 (2exs.,28.V.1992).
 小野市来住町 (1ex.,9.V.1991,etc.).
 加西市畑 (1ex.,23.VI.1974,etc.).
 加東郡東条町森 (4exs.,18.V.1984,etc.), 社町三草
 (1ex.,20.V.1989).
 飾磨郡雪彦山 (1ex.,14.VII.1957,etc.), 家島 [上田,
 1981].
 神崎郡笠形山 (1ex.,12.VI.1975), 大河内町砥峰
 (2exs.,19.VI.1977,etc.).
 龍野市神岡町 (1ex.,13.VI.1988).
 揖保郡新宮町福原 (3exs.,22.VI.1992,etc.).
 佐用郡上月 (1ex.,3.V.1952).
 相生市三濃山 (2exs.,7.V.1972,etc.).
 宍粟郡音水 (4exs.,21.V.1972,etc.), 赤西 (1ex.,11.V.
 1979), 波賀町上野 [相坂,1995].
 多紀郡西紀町 (1ex.,20.IV.1982), 雨石山 [Hayashi
 etc.,1995].
 城崎郡日高町奈佐路 (1ex.,25.X.1953,etc.).
 養父郡氷の山 (5exs.,25.VII.1955,etc.), [高橋,1975].
 美方郡扇ノ山 [辻,1963, 辻,岸田,1972, 高橋,1975],
 鉢伏山 [高橋,1975].

63. *Harmonia yedoensis* (Takizawa,1917)

クリサキテントウ

ナミテントウにきわめてよく似ており, 斑紋多型
 も平行的に類似しており, 成虫による区別は困難で
 あるが幼虫は明らかに違う.

マツ類の樹上に特異的に生息するといわれている.
 県下での分布はほとんどわかっていない.

産地.

神戸市六甲山 (1ex.,28.V.1987), 伊川谷 (5exs.,13.V.
 1988).

三木市三木山,志染 (1ex.,9.IX.1992).

64. *Illeis koebelei* Timberlake,1943

キイロテントウ

体長3.5-5.1mm. 上翅はつねに鮮黄色. 前胸背板
 は白色で1対の小黒点がある. 県下に広く分布して
 いる.

産地.

洲本市先山 [宮武,古木,1973, 堀田,1978], 三熊山
 [N.Hirochi etc.,1977].

川西市大和,笹部 [仲田,1978,1982].

宝塚市武田尾 (1ex.,30.V.1954), 宮前町1丁目 [東,
 1993].

西宮市船坂 (1ex.,5.VI.1987).

神戸市六甲山 (2exs.,22.V.1987,etc.), 再度山 (1ex.,
 10.VI.1979), 烏原 (1ex.,24.V.1953,etc.), 石井ダ
 ム (1ex.,18.X.1991,etc.), 妙法寺 (1ex.,4.X.1978,
 etc.), 有馬 (1ex.,17.V.1967), 逢山峡 (1ex.,2.VII.
 1982), 伊川谷 (2exs.,19.V.1988,etc.), 藍那 (1ex.,
 21.IV.1993,etc.), 八多町屏風 (1ex.,4.VI.1993).

高砂市 (1ex.,2.VIII.1953).

三木市口吉川町笹原 (1ex.,3.X.1986).

加西市畑 (1ex.,27.VII.1974).

加東郡社町三草 (2exs.,22.V.1989).

飾磨郡雪彦山 (2exs.,14.VII.1957), 家島 [上田,
 1981].

神崎郡大河内町川上 (1ex.,18.VI.1977).

相生市三濃山 (1ex.,3.V.1969,etc.).

宍粟郡音水 (4exs.,3.VI.1973,etc.).

多紀郡雨石山 [Hayashi etc.,1995].

氷上郡 [山本,1958].

出石郡出石町福住 [高橋,1963].

養父郡氷の山 (1ex.,2.VIII.1953), [高橋,1995].

美方郡扇ノ山 [辻,1963].

65. *Menochilus sexamaculatus* (Fabricius,1781)

ダンダラテントウ

体長3.7-6.7mm. 斑紋の変異が著しく, ナミテン
 トウと混同されることがある. 兵庫県下にも広く分
 布している.

産地.

伊丹市 [河上,1984].

尼崎市園田 (1ex.,5.V.1967).

宝塚市仁川 (3exs.,21.X.1956), [東,1993].

西宮市甲陽園 (2exs.,5.VIII.1961).

神戸 [Lewis,1896], 鳥原 (2exs.,16.XI.1952), 石井ダム (7exs.,22.X.1991), 山の街 (1ex.,28.V.1953), 妙楽寺 (1ex.,14.IX.1978), 多井畑 (2exs.,26.VII.1990).
 明石市明石公園 (1ex.,29.VI.1975).
 小野市来住町 (1ex.,26.VI.1991).
 飾磨郡家島 (1ex.,26.V.1978), [上田,1981].
 養父郡氷の山 (1ex.,25.VII.1959).

66. *Micraspis kiotoensis* (Nakane et M.Araki,1960)

クロスジチャイロテントウ

体長3.5-3.7mm. 前胸背板は前, 側縁を除き黒色. 各上翅中央に縦長黒条がある. 県下には次の記録があるのみである.

産地.

西宮市 [1ex.,22.IX.1942,K.Kurosa leg., H.Sasaji, 1971, 大野,1970].

67. *Sospita oblongoguttata* (Linnaeus,1758)

ジュウロクホシテントウ

体長7.0-8.5mm. 上翅白紋は1-3-2-1に並び, 多くは三角形で一部消失することもある. 兵庫県下の産はあまり多くない.

産地.

川西市大和 [仲田,1970,1978,1982], 能勢口 (1ex.,5.XI.1977).
 宝塚市北部西谷西部 [東,1993].
 神戸市六甲山 (1ex.,23.VI.1962,etc.), 再度山 (1ex.,19.VIII.1939), 八多町屏風 (1ex.,10.VI.1993).
 氷上郡山南町 [高橋,1961].

68. *Synonycha grandis* (Thunberg,1781)

オオテントウ

体長10.5-13.0mm. 前胸背中央基部に大黒斑があり, 上翅黒紋は各翅1-2¹/₂-2¹/₂-¹/₂に配列し, 中央紋は大型. 体下面, 肢などはすべて黄褐色で黒色部はない. 分布は非常に広い種であるが兵庫県下では記録が大変少ない.

産地.

神戸市山の街 (1ex.,VII.1940), 谷上 [中根,1955].
 多可郡三国岳 [西脇,1965].

69. *Vibidia duodecimguttata* (Poda,1761)

シロホシテントウ

体長3.1-4.9mm. 前胸背板の前縁はほとんど直線状でわずかに波曲し, 側方は白色. 上翅の白紋は1-2-2-1に配列し, 側方の2紋は上翅側縁に接する. 普

通に見られる.

産地.

川西市大和,横地,笹部 [仲田,1978,1982].

神戸 [Lewis,1896], 六甲山 (1ex.,10.IX.1987), 鳥原 (1ex.,10.VII.1940,etc.), 石井ダム (1ex.,22.X.1991), 山の街 (1ex.,17.V.1953,etc.), 丹生山 (1ex.,5.V.1956), 金剛童子山 (1ex.,24.VI.1956), 箕谷 (1ex.,18.V.1948), 芦谷溪谷 (1ex.,5.VI.1982), 谷上 (1ex.,25.V.1986), 逢山峡 (1ex.,7.VII.1987,etc.).

高砂市 (2exs.,30.V.1954).

神崎郡大河内町川上 (1ex.,1.VII.1977).

揖保郡新宮町福原 (1ex.,15.V.1992).

相生市三瀬山 (1ex.,6.VII.1973,etc.).

宍粟郡原 (1ex.,11.V.1979), 音水 (10exs.,24.VII.

1973,etc.), 赤西 (1ex.,10.V.1970).

氷上郡 [山本,1958], 山南町 (1ex.,9.VII.1990).

出石郡出石町小人 [高橋,1963].

養父郡氷の山 [高橋,1975].

Subfamily Epilachinae マダラテントウムシ亜科

70. *Epilachna admirabilis* Crotch,1874

トホシテントウ

体長5.4-7.5mm. 背面の地色は暗赤色. 前胸背板の黒斑は大きく横長で, 拡大してほとんど全体黒色となることもあるという. また, 上翅黒斑は時に大きくなり, 融合することがある. 体下はほとんど黒色のものから後胸と腹部一部が黒色のものまで変化し, 肢の色も変化に富む. 食草はカラスウリなど.

県の海岸線に近い地域からの分布は知られていない. ほぼ中央部から北にかけては広く産するようである.

産地.

川西市笹部 [仲田,1978,1982].

多可郡三谷 (1ex.,13.VII.1975).

神崎郡笠形山 (3exs.,12.VI.1975), 大河内町川上 (2exs.,15.VII.1977,etc.).

揖保郡新宮町福原 (2exs.,10.VI.1992).

宍粟郡福知溪谷 (1ex.,16.VI.1975,M.Yuma leg.),

音水 (5exs.,16.VII.1972,etc.), 赤西 (1ex.,23.VI.1979).

氷上郡神楽 [高橋,1975], 山南町 (2exs.,11.VII.1990, etc.).

養父郡氷の山 (8exs.,25.VII.1958,etc.), [高橋,1975].

美方郡扇ノ山 [辻,1963, 辻,岸田,1972].

71. *Epilachna niponica* Lewis,1896

ヤマトアザミテントウ

体長5.5-8.5mm。オオニジュウヤホシテントウに似ている。上翅の1紋は左右が連続し、その前縁はひと山になる。d紋は左右完全に連続し、楕形の一紋となる。g, h紋は大きい。後腿節は両端の小部分を除きほとんど黒色。上翅の地色は濃赤褐色で光沢がやや強い。体形は変化が多い。アザミ類を食草とする。従来コブオオニジュウヤホシテントウの本州型とされていたもの。かつて筆者も兵庫県下のコブオオニジュウヤホシテントウとしてその分布を検討したことがある(きべりはむしVol.8, No.1, p.11, 1980)。

県下での分布はあまりよくわかっていない。

産地。

神崎郡大河内町川上(9exs., 7.V.1975, etc.).
 宍粟郡原(1ex., 11.V.1979), 赤西(4exs., 26.V.1979, etc.), 坂の谷(10exs., 9.VI.1973)。

72. *Epilachna vigintioctomaculata* Motchulsky, 1857
 オオニジュウヤホシテントウ

体長6.5-8mm。体は赤褐~黄褐色。背面は顕著に隆起する。前胸背面、上翅に黒い斑紋を有する。

成虫、幼虫がジャガイモなどナス科植物を食害する。県下に広く分布しているが、一般的には中央部から北部にかけて分布しているように思われる。

産地。

洲本市安乎町[堀田, 1978].
 川西市笹部[仲田, 1978].
 宝塚市宝梅公園[東, 1933].
 西宮市甲東園[戸沢, 1936].
 多可郡鳥羽(1ex., 5.VII.1975, etc.).
 神崎郡大河内町川上(5exs., 18.VI.1977, etc.).
 宍粟郡赤西(1ex., 10.V.1970), 音水(6exs., 16.VII.1972, etc.).
 水上郡芦田村(1ex., 12.VIII.1952, Yamamoto leg.), 佐治, 神楽, 竹田[山本, 1958].
 出石郡出石町広原[高橋, 1963].
 養父郡氷の山(21♂11♀, 2.VIII.1953, etc.).
 美方郡湯村(1ex., 27.VII.1952), 扇ノ山[辻, 1963, 辻, 岸田, 1972, 高橋, 1975].

73. *Epilachna vigintioctopunctata* (Fabricius, 1775)
 ニジュウヤホシテントウ

体長5.3-6.8mm。上翅斑紋はふつう比較的小さく、ときに一部が消失したり融合したりすることがある。後腿節は完全に赤褐色で黒斑がない。各上翅の先端内縁は角張る。

ジャガイモの害虫としてよく知られており、兵庫

県下に広く分布し個体数も多い。
 産地。

津名郡岩屋(1ex., 25.IV.1959), 五色町都志角川[藤富, 1995].
 洲本市中川原町厚浜[藤富, 1995].
 三原郡論鶴羽山[宮武, 古木, 1974], 沼島[楠井, 1992].
 川西市大和, 笹部[仲田, 1978, 1982].
 伊丹市[河上, 1984].
 宝塚市宝梅町1丁目[東, 1993].
 尼崎市蓬川緑地[大宮, 1996].
 神戸市六甲山[中根, 1955], 鳥原(3♂3♀, 10.VII.1939, etc.), 石井ダム(1ex., 1.V.1992), 藍那(1ex., 14.VI.1978, etc.), 山の街(1ex., 10.V.1959), 丹生山(1♂, 5.V.1956), 舞子(1♀, 5.V.1939), 多井畑(2exs., 27.IX.1990), 八多町屏風(2exs., 22.VII.1993).
 三木市内(14exs., 20.VII.1979, S.Ogura leg.), 口吉川(1ex., 11.IX.1986), 大村(1ex., 10.V.1990).
 美濃郡吉川町(6exs., 11.VII.1985, etc.).
 小野市山田(3exs., 8.VII.1987).
 加古川市内(4♀, 16.VII.1951).
 飾磨郡家島(1♂1♀, 11.VI.1977, N.Ueda leg.).
 揖保郡新宮町福原(1ex., 15.VII.1992).
 相生市三濃山(1ex., 7.V.1972).
 出石郡出石町小人[高橋, 1963].
 養父郡鉢伏山[高橋, 1975].
 美方郡扇ノ山[辻, 岸田, 1972].

<参考文献>

兵庫県に関係あるものは研究史を見ていただきたい。
 江原昭三(1955) マダラテントウ属をめぐる諸問題 新昆虫8(2): 2-9.
 江崎悌三ほか(編)(1969) 日本幼虫図鑑 718p.(北陸館・東京)
 平山修次郎(1940) 原色甲虫図譜 172+37p. 52原色図版(三省堂・東京)
 井上義郎(1952) オオニジュウヤホシテントウの翅鞘斑紋の地方的変異 新昆虫5(8): 2-5.
 Kamiya, H. (1959) A Revision of the tribe Chilocerini of Japan and the Loochoos (Coleoptera: Coccinellidae). Kontyu 27: 99-105.
 Kamiya, H. (1961) A revision of the tribe Scymnini from Japan and the Loochoos (Coleoptera: Coccinellidae), Part I and II. J. Fac. Agr. Kyushu Univ., II: 275-302, 303-332.
 Kamiya, H. (1963) A revision of the tribe Hyperas-

- pini of Japan (Coleoptera:Coccinellidae) Mem. Fac. Lib. Arts. Fukui Univ. 13(2) : 79-86.
- Kamiya,H.(1965) A revision of the tribe Coccinellini of Japan and the Ryukyus. (Coleoptera:Coccinellidae) Mem. Fac. Lib. Arts. Fukui Univ.,15(2) : 27-71.
- Kamiya,H.(1965) Comparative morphology of larvae of the Japanese Coccinellidae, with special reference to the tribal phylogeny of the family (Coleoptera). Mem. Fac. Lib. Arts. Fukui Univ.,14(2) : 83-100.
- 神谷一男・安立綱光(1933) 原色甲虫図譜(三省堂・東京)
- 片倉晴雄(1988) オオニジュウヤホシテントウ 160p.(文一総合出版・東京)
- 加藤正世(1933) 原色昆虫図譜第8輯
- 栗崎真澄(1915) 既知及未知本邦産瓢虫の種類に就きて 昆虫世界19 : 142-144,229-230,446-449.
- 栗崎真澄(1920) 属Amidaに就きて 昆虫世界24 : 156-158.
- 栗崎真澄(1921) 属Anatisの研究 昆虫世界25 : 150-151.
- 栗崎真澄(1921) Chilocorusの研究 昆虫世界25 : 34-37.
- 栗崎真澄(1923) 日本産瓢虫Scymnus属概観 昆虫世界27 : 14-17.
- 栗崎真澄(1924) 瓢虫の腹節数並びに雌雄の区別 札幌博物学会々報9 : 141-147.
- 栗崎真澄(1926) 日本産瓢虫類の分布につきて 動物学雑誌38 : 71-78.
- 松村松年(1931) 日本産昆虫大図鑑 1497+322pp.(刀江書院・東京)
- 三輪勇四郎・吉田忠之(1935) 日本産昆虫目録第9輯 鞘翅目テントウムシ科 昆虫界3 : 32-53.
- 中根猛彦ほか(編)(1955) 原色日本昆虫図鑑(上) 甲虫編 (保育社・大阪)
- 中根猛彦ほか(編)(1963) 原色日本昆虫大図鑑II.(北隆館・東京)
- 桜谷保之(1998) テントウムシの生活史 昆虫と自然33(5) : 11-15.
- 佐々治寛之(1973) 日本産テントウムシ類の見分け方-成虫編- 植物防疫27(9) : 385-394.
- 佐々治寛之(1973) 日本産テントウムシ類の見分け方-幼虫編- 植物防疫27(11) : 473-478.
- 佐々治寛之(1977) ナミテントウ同胞種群について 昆虫と自然12(11) : 4-13.
- 佐々治寛之(1977) テントウムシの雌雄の見分け方 インセクトリウム14(11) : 13.
- 佐々治寛之(1982) テントウムシ類の食性(1)-(3) インセクトリウム19 : 14-19,38-42,66-70.
- 佐々治寛之(1983) 日本産甲虫目録 テントウムシ科 24p.(日本鞘翅学会)
- 佐々治寛之(1983) 日本産テントウムシ亜科既知幼虫の図解検索表 月刊むし(146) : 2-6.
- 佐々治寛之(1984) テントウムシ科 pp.245-270. 黒沢良彦ほか(編)原色日本甲虫図鑑(III) (保育社・東京)
- 佐々治寛之(1998) テントウムシの自然史 251p.(東京大学出版会・東京)
- 佐々治寛之(1998) テントウムシの形態と分類 昆虫と自然33(5) : 5-10.
- 湯浅啓温(1932) テントウムシ科 pp.690-699. 内田清之助(編)日本昆虫図鑑(初版) (北隆館・東京)
- 湯浅啓温(1950) テントウムシ科 pp.1093-1101. 石井悌ほか(編)日本昆虫図鑑(改訂版) (北隆館・東京)